

ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



DISTRICT 360

ICHISABURO YAMADA

THE CHUKYO SGO BANK, LTD.

3-33-13, SAKAE, NAKA-KU

NAGOYA, JAPAN 460-91

山田市三郎

国際ロータリー第360地区 ガバナー事務所

名古屋市中区栄三丁目33-13

中京相互銀行 7 階

No.12 MAY 15, 1976

●ガバナー月信 第12号 昭和51年 5月15日

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING

人間に威信を！

■第360地区ロータリークラブ会長幹事殿

富士山麓にロータリーを思う

国際ロータリー第360地区ガバナー 山田市三郎

5月2日東北信分区のI.G.F.に出席した私は、翌日が憲法記念日であったので、自動車で中野からさ霧のかかる菅平峠を越え、小諸に下り、南佐久を経て、韭崎、甲府、それから御坂峠のトンネルを通して河口湖へ、そして山中湖畔の山荘へ半歳ぶりに入った。

翌朝鶯に夢破られて前栽に出ると、富士桜が満開で、その下に花冷えの小雨にぬれた私の歌碑がはっきりと文字を浮かせている。この碑は10数年前に、甲州産の自然石に、富士山に登りてと題してものした一首を刻したものである。

悠遠の時の流れを思ふかな

脚下に浮かぶ大きな白雲

私は毎年5月初旬と、78月の頃と、10月下旬と、この富士山麓の山荘に、数日を妻と2人ですぐすことを楽しみにしている。乙女桜が満開で、落葉松がめざむるばかりあざやかに新芽を出すとき、鶯や郭公や時鳥などもろもろの小鳥がさえずり、月見草の花が美しいとき、満山がもえるように紅に黄に紅葉して、富士山とともに湖に影うつすとき、四季の移り変わりとともにとりどりに詩趣すて難く、生くる喜びをしみみとあたえてくれる。

見晴台に登って、富士の霊峰を眺める。5合目以上はなお白妙の雪におおわれ、なだら

かに、なめらかに、四方に際限なく裾野をひいて、浅緑にすみ渡る大空にそびゆる偉容は、造物神のつくりなせる芸術の極致である。私はこの神山の姿に、ロータリーの民主的のあり方と、地域密着のあり方とをありありと見る心地がする。

近代民主主義の源となった1789年のフランス革命のスローガンは、自由、平等、博愛であった。そして、爾来民主主義の金科玉条とされて今日に至っている。ロータリーの真髄もこの泉からあふれる清き水を汲むに外ならない。なだらかに、なめらかに、あたたかに和らぎ睦び、無涯にひろがり結び集う多数のロータリアンの自由、平等、博愛の心の積みあげによって、運営され生々発展して来た。

三国一の富士の山と古代より賞讃され、標高1万数千尺、その3ヶ国にまたがりひろがりて裳裾ひく。点在する無数の民家、肥沃な田畑、白樺林、落葉松の森、千石斧鉞を入れしことのない樹海、五湖、数多の河川など、美しいと云うには余りに麗しい霊峰と裾野と一体をなす姿。これこそロータリーの地域密着の奉仕実践の神秘の姿である。数千年の歴史を誇るわが大和の国の尊い伝統、道徳、文化の生々しい晴れ姿である。

1976年5月3日

●親愛なるロータリアン各位：

国際ロータリーの役員としての皆様の年度は、その終りに近づいてまいりました。しかしながら、ロータリアンが各自の地域社会並びに国際的な分野において善意をひろめ、理解をはかる努力をすることには、終点はないのであります。イムバサイ会長が本年度のメッセージにて、「あらゆる面において人間の威信を重んずること一即ち、その人権を尊重し、仕事上および教養面における業績を尊重し、そして知性と精神的価値を尊重することは、善意に導く確実な道であり、われわれが待望して止まない各人、各民族および各国国民間の理解に導く確実な道、即ち平和への道なのであります。」と言われたのは、取りも直さず、奉仕の行進に終点はないことを強調しておられるのであります。

努力、行動、業績……これらは、個々のロータリアンおよびその所属するクラブが、世界中のあらゆる境遇にある児童、成人、高令者、すべての人々にとって、その将来が一層意義あるものとなるようにと願う精神が外に表われたものであります。このロータリアンの奉仕の精神の結晶を見て一般の人々は、ロータリアンとなることは地域社会の奉仕者となることであると認知するのであります。米国、オクラホマ州、シャウニー・ロータリー・クラブの会報に、ロータリアンでない人々がロータリーをどのように解釈するかについての一文が掲載されていました。「ロータリアンでない人がロータリー文献を読むことはない。故にその人は地域社会のロータリアンの生き方によって、ロータリーを解釈するのである。」

皆様の年度は愈々、その終点に近づいて来ましたが、皆様の努力と率先指導のお蔭で、今年度中の貴地区内クラブの努力、行動力、業績は、ロータリーがその究極の目的達成を目指す行進を継続させることに寄与しているのであり

ます。

●第八回恒例ポール・ハリス・フェロー昼食会

ロータリー財団のポール・ハリス・フェローの第8回懇親会が、ニュー・オーリンズにおける1976年国際大会の期間中に開催されます。6月15日（火）フェアモント・ホテルにおいて催されるこの恒例行事には約1200名の方が出席される予定です。詳しいことは国際大会の大会日報に掲載されます。ポール・ハリス・フェローとは、個人で、或いは、他の人がその人の名義で財団1,000ドルの寄付をされた方々です。なお、この昼食会は、ポール・ハリス・フェローとなられた方のみの懇親会であります。

●会員増強目標の達成を奨励

貴地区内各クラブが本年度の初めに提出した「クラブ計画と目標の要約」には、各クラブの会員増強目標を示す箇所があります。本ロータリー年度の終りを迎えるに際して、今、一度、各クラブの目標について注意を促がし、本年度の残余の期間中にその目標を達成させる手段を講ずるように要請して下さい。

●社会奉仕委員会の組織案

国際ロータリー理事会は、1976年1月の会合において、各ロータリー・クラブにおける推奨委員会組織を改定し、次の委員会を社会奉仕委員会のもとに設置することを奨励する旨、決議いたしました：環境保全・身心障害者・都市・農村関係・都市安全・高令市民・青少年・ローターアクト・インターアクト。

ロータリー・クラブの改訂委員会組織案は、国際ロータリー・ニュース5月号の同封物として全クラブへ送付されました。

●実行を要す諸事項

新クラブにおける7日1日の役員交替が円滑に行なわれるように特別な指導、助言をする……6月1日付「国際ロータリーへの報告」をまとめ、1通は中央事務局へ、1通は次期ガバナ

へ送付する……5月及び6月の地区会員数及び出席率報告を作成して提出する……6月に開催される米国、ルイジアナ州、ニュー・オーリンズにおける国際大会に参加するロータリアンは、職業別協議会、各クラブの役員及び委員のグループ別会合、ホスピタリティー番組などの特別行事に参加することを各クラブへ要請する。

●各クラブの会員組織の検討を要請

国際ロータリー理事会は各ロータリー・クラブが下記の質問に照して、その会員組織を検討することを奨励しています。

- 貴地域社会における貴クラブのイメージは何か？
- 貴クラブの会員組織は貴地域社会の全実業界、全専門職業界を真に代表するものだろうか？
- 貴クラブは貴地域社会内の各種職業の「代表的職業人」を会員として迎え入れることに努力しておられますか？

この理事会の決議を貴地区内全クラブへ伝達し、その実行をはかることが要請されております。

●オリンピックの伝統、ロータリーの年次報告を特集したザ・ロータリアン誌の6月号

何世紀にもわたり、オリンピック大会の聖火は、世界各国間に平和の橋を築く国際理解の精神を象徴するものとなっております。”Swifter, Higher, Stronger”は、古代のアテネで開かれた競技大会から、今夏モントリオールで行なわれる大会まで、オリンピック競技の歴史と伝統を再検討した特別記事です。

米国では、伝統的なオリンピックには参加できない身障者達が、ロータリーの協力を得て彼ら自身のオリンピック大会を行なっています。”Boston’s, wheelchair Olympics”は肢体の不自由を克服し競技に参加しようとする人達を後援しているボストン・ロータリー・クラブの活動を物語る記事です。

”Reporting on Rotary”は16ページにわたる、ロータリー・クラブ並びに国際ロータリーの活動と業績を検討し報告する年次報告書で、1975

～76年度中、各クラブ並びに各地区がエルネスト・イムバサイ・デ・メロ会長のテーマ「人間に威信を！」の要請に対して、どのように応え、その実践に当たっているかを示すものであります。

●ロータリー情報とは何か？

米国、ニュー・ジャージー州、メイブルウッド・ロータリー・クラブの会報編集者は「私は、最近、ロータリーのために何をしたらどうか？」の質問に対し、地区ガバナーの講演を参照して答えています。

「“ロータリー情報とは何か？”という質問をしたとします。ロータリー情報とは、ロータリアンとしてのつとめについての会員の自覚を深め、ロータリー、その歴史、目的、規模、活動などについての知識を広め、クラブの運営規約などについての知識を更新させるデータ資料であるというのが、その定義の一部であります。」

「このようなロータリー情報の定義に加え、そのロータリー情報の普及をはかるのは、国際ロータリーが推奨するタイプの意義ある奉仕活動に進んで参加しようとする意欲を会員にうえつけるもの、共同活動において自分の役割を全うせんとする協力的な態度を会員にうえつけるもの、会員の気持ちを持ち上げ、そして、そのロータリー・クラブを何を討議するかと言えばロータリーのことしか討議しない単なる社交的な会食の域から脱却させるもの、会員の精神に“これは重要なことであり、これには時間を割いて、努力しなければならない。”という献身的な気持ちと態度をうえつけるもの、そして最後に4つのテストやロータリーの目的と綱領が適用されるべき第1の場所は、その会員の所属ロータリー・クラブとの関係にあるという自覚を会員にうえつけるものは、皆、ロータリー情報をもたらす成果であるからだといえるのであります。」

●全世界のロータリー

1976年4月30日現在、ロータリーは151の国及び地理的地域に16,778のクラブと約785,400人のロータリアンを有します。地区数は357です。1975年7月1日以降、41か国から284の新クラブが国際ロータリーに加盟いたしました。

■国際ロータリー第360地区南信第一分区 I . G . F . 開催



日 時 昭和51年 4 月 4 日

会 場 諏訪市チノン倶会議室

ホストクラブ 諏訪ロータリークラブ

リーダー 島恒治南信第一分区代理

アドバイザー 滝沢卓夫パストガバナー

原享二パストガバナー

藤原正男ガバナーノミニー

パネリスト 宮脇 佑完 (大 町)

高木 信雄 (松本西南)

荻村 政司 (木 曽)

花岡秀一郎 (岡 谷)

小平 進一 (松 本)

プログラム

9:30~10:30 登 録 進行係

ホストクラブ幹事 太田信男

10:30

点 鐘

ホストクラブ会長 北沢淑夫

国歌斉唱

ロータリーソング『奉仕の理

想』

開会の辞

ホストクラブ会長 北沢淑夫

特別出席者報告

フォーラムリーダー 島恒治

登録者数報告

ホストクラブ幹事 太田信男

挨拶 ガバナー 山田市三郎

挨拶 ガバナーノミニー

藤原正男

挨拶 フォーラムリーダー

島 恒治

10:55~11:35 クラブ奉仕

大町クラブ

宮脇佑完

11:40~12:20 職業奉仕

松本西南クラブ 高木信雄

昼食 (50分)

13:10~13:50 社会奉仕

木曽クラブ 荻村政司

13:55~14:35 国際奉仕

岡谷クラブ 花岡秀一郎

14:45~15:25 青少年奉仕

松本クラブ 小平進一

15:25~15:30 挨拶

フォーラムリーダー

島 恒治

15:30~15:45 講評

ガバナー 山田市三郎

次期ホストクラブ発表

分区代理 島 恒治

次期ホストクラブ会長挨拶

岡谷クラブ会長 小野茂夫

閉会の辞

ホストクラブ副会長岩波 寿

ロータリーソング

『手に手つないで』

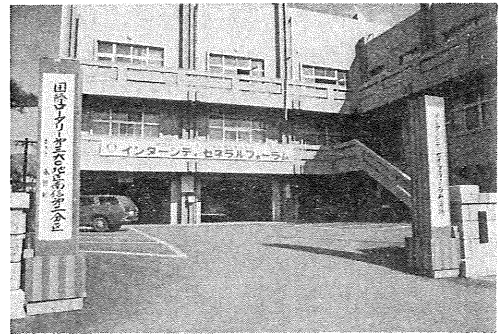
16:00

点 鐘

ホストクラブ会長 北沢淑夫

ク ラ ブ 名		51. 3. 10 現在会員数	フォーラム 登 録 数
松	本	74	19
松	本 南	79	45
松	本 西 南	39	20
大	町	61	18
木	曽	44	22
白	馬	30	13
岡	谷	54	54
富	士 見	28	28
諏	訪	56	55
9 ク ラ ブ		465	274

■国際ロータリー第360地区南信第二分区 I . G . F . 開催



日 時 昭和51年 4 月 25 日
 会 場 下辰野公民館
 ホストクラブ 辰野ロータリークラブ
 リーダー 桃沢茂雄南信第二分区代理
 アドバイザー 滝沢卓夫パストガバナー
 原享二パストガバナー
 藤原正男ガバナーノミニー
 パネリスト 矢沢俊三(松川)
 池上 勇(飯島)
 池上英雄(辰野)
 滝沢四郎(駒ヶ根)
 大島国弥(飯田)
 宮島宏一郎(伊那)
 久保田護(飯田南)

プログラム

9:00～ 9:30 登 録
 6:30～ 9:35 { 点 鐘
 国 歌「君が代」
 ソング「奉仕の理想」
 9:35～ 9:45 { 歓迎の挨拶
 役員・参加クラブ紹介
 ホストC会長 林 仙
 9:45～ 9:55 参加者数及び諸事御知らせ
 ホストC幹事 小野貞一郎
 9:55～10:00 フォーラムリーダー挨拶
 分区代理 桃沢茂雄
 10:00～10:05 ガバナー挨拶
 ガバナー 山田市三郎

〔部門全体会議〕

10:05～10:45 クラブ奉仕部門
 I ロータリー情報
 パネリスト 矢沢俊三
 10:45～11:25 クラブ奉仕部門
 II 出席と親睦
 パネリスト 池上 勇
 11:25～12:05 クラブ奉仕部門

III 会員増強

パネリスト 池上英雄
 12:50～13:40 職業奉仕部門
 パネリスト 滝沢四郎
 13:40～14:30 社会奉仕部門
 パネリスト 大島国弥
 14:45～15:35 青少年奉仕部門
 パネリスト 宮島宏一郎
 15:35～16:25 国際奉仕部門
 パネリスト 久保田護
 16:25～16:40 講 評
 ガバナー 山田市三郎
 講 評
 アドバイザー 滝沢卓夫
 講 評
 アドバイザー 原 享二
 講 評
 アドバイザー 藤原正男
 16:40～16:45 { 次期開催地発表
 分区代理 桃沢茂雄
 次期開催地会長挨拶
 ソング「手に手つないで」
 16:45～16:50 閉会の挨拶
 ホストC副会長 竜口荘一
 点 鐘

ク ラ ブ 名		51. 4. 10 現在会員数	フォーラム 登 録 数
飯 田	田	69	17
飯 田	南	59	13
駒 ヶ	根	64	32
伊 那	那	67	29
辰 野	野	43	42
飯 島	島	31	21
松 川	川	36	20
箕 輪	輪	26	23
8 ク ラ ブ		395	197

■国際ロータリー第360地区東北信分区 I . G . F . 開催



日 時 昭和51年 5 月 2 日
 会 場 中野プラザ会館
 ホストクラブ 中野ロータリークラブ
 リーダー 夏目幸一郎東北信分区代理
 アドバイザー 安野譲次パストガバナー
 滝沢卓夫パストガバナー
 特別出席者 藤原正男ガバナーノミニー
 パネリスト 神津文男 (長野)
 小林益三 (小諸)
 田所義章 (軽井沢)
 滝沢敏久 (戸倉上山田)
 小林映雄 (丸子)

プログラム

9:45~10:15 登 録
 10:20~10:35 点 鐘
 ホストクラブ会長 西原金次
 進 行
 フォーラム幹事 柳本義郎
 斉 唱
 君が代, 奉仕の理想
 ソングリーダー 西川 玄
 開会歓迎の辞
 ホストクラブ会長 西原金次
 リーダー挨拶
 東北信分区代理 夏目幸一郎
 アドバイザー, パネリスト
 紹介リーダー 夏目幸一郎
 10:35~10:45 ガバナー挨拶
 360地区ガバナー 山田市三郎
 10:45~10:55 アドバイザー挨拶
 パストガバナー 安野譲次
 “ 滝沢卓夫
 11:05~11:35 社会奉仕について
 長野 RC 神津文男
 11:35~12:05 職業奉仕について
 小諸 RC 小林益三

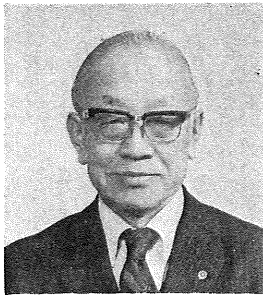
12:05~12:45 昼 食
 12:45~13:15 国際奉仕について
 軽井沢 RC 田所義章
 13:15~13:45 クラブ奉仕について
 戸倉上山田 RC 滝沢敏久
 13:45~14:15 青少年奉仕について
 丸子 RC 小林映雄
 14:25~14:55 アドバイザー指導について
 パストガバナー 安野譲次
 “ 滝沢卓夫
 14:55~15:20 講評 ガバナー 山田市三郎
 15:20~15:30 次期ガバナー挨拶
 ガバナーノミニー 藤原正男
 15:30~15:35 次期ホストクラブ発表
 分区代理 夏目幸一郎
 次期ホストクラブ会長挨拶
 15:35~15:40 斉唱 手に手つないで
 ソングリーダー 西川 玄
 閉会の辞
 ホストクラブ副会長畔上俊旦
 点 鐘
 ホストクラブ会長 西原金次

ク ラ ブ 名	51. 4. 10 現在会員数	フォーラム 登 録 数
軽 井 沢	38	14
小 諸	51	14
丸 子	35	11
長 野	75	9
長 野 東	67	10
中 野	40	40
戸 倉 上 山 田	32	10
上 田	60	8
南 佐 久	28	27
9 ク ラ ブ	426	143

■1975～'76年度も余すところ1カ月半となりました。4月号から4回にわたり、分区代理および地区委員長の方々にご登場願ひ、ご活躍のあとを振り返り実績やご感想をご投稿いただいております。

対訳表1975年版を作成

職業分類委員会委員長 安野譲次



職業分類が如何に大切な物であるかはロータリーに入会される時に十分話を聞いておられる事であろうと思われるし、少なくともご自分の職業分類は何であり、その所属クラブ

のテリトリーの中での職業代表であるという事もお認識であると思う。然し、実際問題としてクラブ会員の増強に力を入れすぎてつい職業分業を軽視するクラブのある事は大変に危険な事である。

今から数年前まではR. I. も職業分類は農業で小分類は大豆栽培、トマト栽培、キャベツ栽培のように分類し、会員数の10%は同じ大分類から入れる事が出来るが、小分類に一業一人の原則で規制すると云う方法であつた。

しかし、世の中が進歩すると産業形態も複雑になって、一体どの大分類に入れてよいか分ら

ない業種がどんどん増加しているし、その業種の実態を把握する事も世界151カ国が大半では困難になって来た。

そのため、R. I. は大分類、小分類の制度を廃止し、簡単な「職業分類指針」284 Jと云うパンフレットを発行している。毎年八月に更改する、各クラブの職業分類表作製の具体的な参考資料のなくなってしまった現在、10%ルールはなお厳然と生き続けているのであるから、各クラブの職業分類委員の方々のご苦労は大変だと思ふ。

そこで、第360地区の職業分類委員会は「職業分類対訳表1975年版」を作製したのである。この表では大分類をグループと云う言葉で表現している。時間的に急いだために多少のミスはあったが、一応その役目は果たしたようである。地区内外のクラブでの要望に応じて現庄、僅かの残本があるのみとなった。

この種の出版物は今後も二年か三年ごとに刊行するべきだと思う。

なお、この対訳表の作製に当たってご協力下さった会員増強委員会、拡大委員会の皆様及びガバナー事務所の方々に心からお礼を申し上げる次第である。

新たに4クラブ交換に参加

青少年交換委員会委員長 佐藤知雄



1975—76度国際青少年交換は右の通り実施した。

1カ年交換は6地区と相互に6名の交換を成立させたが、夏期交換は4名の派遣のみに終った。オースト

ラリア地区との交換も3名を派遣したが、受入れは1名のみとなった。

この現象は先方地区の青少年交換委員長よりの来信によると、いずれも経済的不況によ

・1カ年交換（アメリカ）75年8月—76年7月

氏 名	推せん RC	受入地区及クラブ
渡辺 由美子	丸 子	D.552 West Elpaso, Tex.
荻原 晶子	箕 輪	D.552 pecose, Tex.
中沢 秀江	松 本	D.502 Sequim, Wash.
中間 武則	高 浜	D.658 Salem, Ind.
野々山 浩代	豊 田	D.539 Missoula Mont.
久具 真由美	豊 川	D.533 Twentynine Palms, Cal.
Roxanna L. Guilhamet	D.552 Farmington N.M.	丸 子
James B. Moss III	D.552 Axtell N.M.	箕 輪
Kim R. Cwley	D.502 Oak Bay B.C. Canada	木 曾
Gohn B. Elliott	D.658 Salem Ind.	高 浜
Gudith A. VanDyck	D.539 Missoula Mont.	豊 田
Gregony A. Clark	D.503 Kirkland Wash.	松本南

（オーストラリア）76年4月—77年3月

藤 島 俊一	東 海	D.250 Murray Bridge, S.A.
高 橋 信一	刈 谷	D.250 Adelaide East, S.A.
長 島 勝	木 曾	D.263 Mt. Gravatt, Q.D.
Cameron F. Quinn	D.263 Surfers Paradise, Q.D.	大 町

る応募者の減少によるものである。

この年度は新たに箕輪、木曾、刈谷、一色、等のクラブが交換に参加した事は誠に喜ばしい事であった。

国際理解と友好のため、また次代を担う青少年の視野の開拓と人間形成のため、国際青少年交換計画を更に拡充させたりと思う次第である。

なお、75年度のオーストラリアD. 250. D. 263との交換学生、Ellen McFarlane (岡崎南 R C 受入)、Susan Elizabeth (大町 R C 受入) の2名は1月に帰国し、新倉和幸(松本西南推せん) 保藤兼典(大町 R. C. 推せん) の諸君は3

● 夏期短期交換 75年5月10日—9月10日

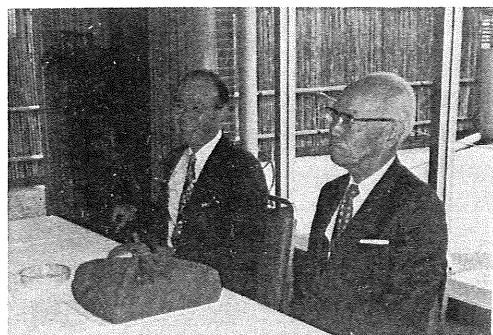
小岩井貞子	松本南	D.667 Greenville, OHIO.
北原 久子	駒ヶ根	D.667 Northmont, OHIO.
山田 就子	一 色	D.667 Greenville, OHIO.
安田美知子	名古屋中	D.667 Eaton, OHIO.

月に多大の成果を収め無事使命を果たして帰国している。

1975年11月1日～2日、愛知県体育館で開催された。第360地区年次大会において挨拶した交換学生 Ellen McFarlane の素晴らしいことばは交換計画の意味を十分に物語るものとして記憶に新しい。

楽しく精一杯つとめる

尾張第2分区代理 大竹和美



あまクラブ公式訪問にて

分区代理、およそ自分には縁遠い立場だと思っておりました。ところが全く思いもかけず任命される羽目となり、一時憂うつでしたが、ロータリーでは指名されたら断わってはいけないというルールに従った次第です。

先ず山田ガバナーより、7人の分区代理に仕事の標準が指示されました。そのお蔭で、任期を振り返って見ると、多忙ではあったのですが、反面非常にやりよかったと思います。

1.) 絡会長、幹事連協議会

ホストは前年度の一宮RCに引続き、創立順でお世話願ひ、50年6月(津島RC)、9月(尾西RC)、51年1月(瀬戸RC)と3回開催しました。I. G. F., 新会員研修会、世界社会奉仕事業を分区単位で推進の件、その他、入会金、年会費、ニコBOX等の情報交換を中心に、お互の親睦も深まり、とても有効であったと思います。

2.) 世界社会奉仕事業の推進

インド、コーポリRCの要請に答え、同地の飲料水のための井戸堀り事業に、14クラブで総額453,680円を協力、大変感謝されております。本事業の推進に当たり、地区世界社会奉仕委員長稲垣実氏のご指導のもと、一宮RC箕田能夫国際奉仕委員長が積極的にまとめ役を買って下さいました。

3.) ガバナー公式訪問随員、並びに事前訪問

公式訪問に先立ち、各クラブを訪問、会長、副会長、幹事さん達とも懇談し、予めガバナーにご報告しました。アッセンブリーに出席、山田ガバナーのすばらしいお人柄にふれるとともに、得難い勉強をさせて頂きました。

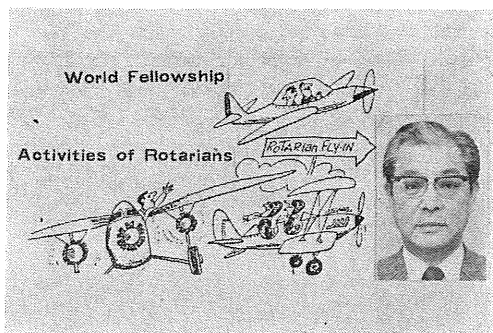
4.) I. G. F.

尾張旭RCがホストをつとめて頂き、3月7日、尾張旭市市民会館で約300名のロータリアンの参加を得て、とても楽しく有効裡に開催する事が出来ました。山田ガバナーご指導のもと、よきホストクラブと会場に恵まれ、よきアドバイザーそしてよきパネリストに恵まれたお蔭と喜こんでおります。

分区代理をつとめさせて頂いて、改めてガバナーのお仕事は大変な事だと、認識を新たにしました。と同時に私は、微力で何も出来ませんでしたが、自分としては楽しく、精一杯やったと言う自己満足を感じている昨今です。そして、区内各クラブの方々、並びに、私の所属するあまRC会長、幹事始め、会員の皆さんの暖かいご協力、思いやりに対し、心より感謝しております。

世界に趣味の友を求めて

世界親睦委員会委員長 水野 民也



我々の委員会が出来て数年になります但我々の努力が全くたりないために、今までに各クラブにパンフレットをお送りをし、年次大会では案内板も出しましたが、クラブからも会員からも何らのご質問もご連絡もございません。

この委員会はくだいこいえば、クラブの中の同好会が国際的に発展したものと考えていいでしょう。国際年次大会に参りますと、そのグループの案内所が友愛の広場等に設けられており

ます。我々の地区でも何らかの形で発展させたいものと考え、皆様方のご協力お待ちしております。それら趣味の会の一、二例のみを書かせて頂きます。

◇切手に趣味のある方…

ROTARY ON STAMPS

Dr. Franko. Brash P.O. Box 5039 Los Angeles, Calif., U.S.A. 94602

◇写真に自信のある方…

I. PHOTOGRAPHIC. F. of R.

写真を通じて親睦活動が出来ます。会長は、Fred P. Riegel, 320 South Atlantic Drive West, Lantana, Florida, U.S.A. 33462

◇ゴルフで国際的になりたい方は…

I. GOLFING. F. of R.

Howard E. Whiteway c/o P. O. Box 9350 7211 Ave., B. Houston, TEX., U.S.A. 77011

◇他に、飛行機のライセンスをお持ちの方、ハングリングの好きな方、ヨットにお乗りの方、音楽、テープレコーディング、アマチュア無線、カーリング、馬、潜水、チェス等々があります。

2 年間に 4 つ誕生

ロータリーアクト委員会委員長
中西 正雄



私は、昭和49年より引続いて3カ年間地区委員として R.A.C. 問題に取り組んで来ましたが、昨年までは岡崎クラブ提唱の岡崎 R.A.C. (創立総会昭和44年9月

12日、認証状伝達式同年11月30日) が唯一の存在にて他の地区の多数の R.A.C. を擁するに比較して余りにも少ない事をさみしく思っていました。

しかし、昨年度後半から先ず豊橋 R. C. 提唱の豊橋 R. A. C. (創立総会昭和50年3月、認証伝達式昭和50年6月1日) 続いて、田原 R. C. 提唱の田原 R. A. C. (創立総会昭和50年5月30日、認証状伝達式昭和50年11月16日) 次に一宮、一宮北、尾西の R. C. 提唱の一宮 R. A. C. (創立総会昭和50年6月5日、認証状伝達式昭和51年

2月8日) 更に今年度に入って名古屋港 R. C. 提唱による名古屋港 R. A. C. (創立総会昭和51年3月5日、認証伝達式昭和51年4月18日) が矢継ぎ早に設立された。

以上のごとく、この2年間に4つ新 R.A.C. を得たので合計5つの R.A.C. が存在する事になる。それは、一つに皆様のご協力の賜物にほかならない。ただし、その分布の状態を見るに三河部に偏在の傾向があり、名古屋の如き大都会に僅かに1つのみは余りにきみしい、しかも。全部が愛知県下のみにて長野県には皆無の状態は真に遺憾である。将来この点に特に留意し尽力したい。

49年と50年の2回にわたり地区内全 R. C. に1ロータリークラブに1ロータテクトクラブをお願いし、併せて設立準備の有無などのアンケートを求めたところ、大部分のクラブより R.A.C. の趣旨には賛成だが未だ緒に就いていないとの返事を得て全然反対のご意見はなかった。

次年度の当初の計画は R.A.C. 会員名簿の作成である。すでに、50年度分は作成各 R. A. C. に送付済みである。51年度にも7月に改訂発行の予定である。なお、5つの R.A.C. 全員が集まる機会が年1回は是非欲しいものである。

■第2回G. S. E. 折井リーダーからのお便り

なお、メンバー一同は親善使節としてふさわしいご活躍を立派に果たされ、すばらしい成果をおみやげに、予定通り4月29日無事帰国されました。



3月16日サンディエゴ市長室にて



3月26日フォールブロック及び
ビスタ両RC家族会にて

第4信(4月15日付ニュー・オーリンズにて)冠省

1. 4月7日付貴信拝受。早速チーム一同に回覧致しました。ご厚情を深謝申し上げますと共にチーム一同よりの感謝を併せてお受け取り下さい。なお、ガバナー・マードック氏、G. S. E. 委員長ストックデール氏に貴意をお伝え申し上げます。

2. 14日早朝にもかかわらず、マードック氏夫妻、ストックデール氏及び当日の全ホストファミリーの盛大な見送りを受け、夫々胸が込み上げて物も言えない状態で機中の人となりました。

3. 今回は都市部、郡部、農村部を廻り最後に又都市部に戻ってクラブ例会への出席、各メンバーの職業に見合った希望する場所の見学、官公庁、法廷等の団体見学による法的、税務的知識の取得が概略のコースとなっていたように見受けられます。

地区G. S. E. 内規(入手致しましたが、部厚いので後日提出申し上げます)も完備し、いずれの地区との交換にも公平を期しているよう見受けられました。

4. 上記の内規に基づき、今回の受入れについてのガイドラインが作成され、関係者並びに各ホストファミリーに配付されていました。

ホストに到着すると直ぐ家中を案内された後洗濯物はないかと聞かれましたが、これもガイドラインに記載されており、又アメリカ人はか

くもパーティ好きかと思らほど各種パーティが多かったわけですが、これも今にして思うとガイドラインに出来るだけ近隣の人、特にノンロータリアンを招いてチームメンバーと語る機会を作れとの指示によるものと判りました。

5. 受入れ計画の基本をG. S. E. 委員4人が作り財団委員長・ガバナーの承認の後7名の分区代理をして、細部の計画を立案せしめた模様です。従って、分区代理の手腕、性格等によって書類・資料・諸手配・時間割り等に多少の差が見られましたが、いずれも極めて好意に満ち熱心であり、問題は全くありませんでした。前述ガイドライン別便にてご提示申し上げます。又今迄G. S. E. に参加した人々(ノンロータリアンを含め)の活躍も特筆致します。

6. 4月13日宛、ガバナー夫妻、G. S. E. 委員夫妻、各分区代理夫妻、更には財団委員長も参加して、今迄お世話になったホストファミリー夫妻家族一同による盛んな歓送会を催して下さいました。ストックデールG. S. E. 委員長の司会で1時間半程夫々杯を片手に握手し抱き合い語り合いました後、テーブルに着きました。

食事のあと、今日はG. S. E. に大いに語って貰うので挨拶は簡単にとストックデールに釘をさされながらも、ガバナー及び財団委員長より心暖まるお話しがあり、その後メンバー一同夫々感謝と4週間の感想、所感を述べました。

各メンバー共実に良くやり或は胸を打ち或は爆笑を呼んで盛会でした。そのあと持参のハッ

ピーコート及び各人秘蔵の品々を出して福引きを致しました。畑山君の軽妙な司会で拍手と大笑い的一幕でした。

一番親身に我々を理解し活躍して呉れたノーマン氏(前回当地区よりブラジルに派遣したG. S. E. リーダー)にハッピーが当たりました事は我々にとってもうれしき限りで本人も大喜びでした。

又、最も苦労されたスタッフデールG. S. E. 委員長は日本語会話の手びきなる冊子が渡り、畑山君から「貴地区より日本へ派遣するG. S. E. メンバーも、この本によって我々の英語程度に日本語を習得される事を望みます」とやった時はやんやの拍手でありました。

7. 席上地区G. S. E. よりメンバー一同に記念品(当地風景等をデザインしたおぼん)を頂きました事をご報告申し上げます。

8. ガバナー始め当地関係者各位より“実にまじめに熱心であり十二分に友好を深め、その使命を達した”とのお言葉を頂き感激致しました。

9. 最後に、あらゆる機会をとらえて1978年の東京大会に参加を呼び掛けたのですが、実に多くの人が希望しており、又参加を約束して呉れました事を併わせてご報告申し上げます。

10. これから二週間東部を中心に加州南部と異なったアメリカを見て参ります。

第五信(4月24日付サンフランシスコにて)

チーム一同もますます元気で旅を続けております。特にご報告申し上げべき問題もなく、今日まで順調に旅が出来た事、神仏のご加護はもとより本部の皆様のご配慮に心から感謝申し上げます。次の次第であります。

今回のメンバーは非常に個性的で、夫々旅に対する考え方も異なるので、如何にして夫々を満足せしめるか、又統一をとるかに苦心致しました。部屋割を場所毎にアミダで決める事、共通勘定を古橋君が受持つ事以外は、小生の提案した時に集合、行動を共にする事以外、出来るだけ各人の懐具合、体力、希望に応じたものと致しました。

その結果、各人熱心に調べて来て或は単独で或る時は2～3人のグループで、極めて精力的に歩き廻り、又半日休息する等、夫々大いに楽

しみ満足しているようでございます。

シカゴでは小生・森・百瀬両君と共にエバンストンにR. I. 本部を訪ね、関係者にお礼やrough報告を申し上げる機会を得ました。

あらかじめ手紙で、フランソワG. S. E. 部長にはお目に掛り度き旨申し上げては置きましたが、日時のアポイントが悪く、心配しておりましたが、極めて気楽に会ってくれ15分ほど話して来ました。

自分は世界中のG. S. E. に関係しているので、細い事は判らないがと云いながらも、即座に鮎谷委員長殿のお名前が出たのにはびっくり致しました。フランソワとの話題及び指摘された事項は下記の通りでございます。

- a D. 534のアレンジの模様、特に余り忙し過ぎなかったかどうか。職業的な研究が出来たかどうか。
 - b 報告書特に写真は見学した場所よりもロータリーの行事や訪問した場所でメンバーが参加し又職業的に参加しているものが好ましい
 - c 交換は出来るだけ早い機会に取りきめ、ガバナーノミニー同志が事前に話し合うか、或は国際協議会で両地区のガバナーノミニー同志が話し合うことが望ましいに考える。
- ……等々。

翻訳部日本語課の田辺道子さんのご案内で、本部内をくわしく見せて頂き、最後にハリーと握手した感激を乱筆ながら取急ぎガバナー・委員長・ノミニー・松本RC各位にお便り申し上げます。次の次第です。

百瀬君・森君以外が参加出来なかった点については申し訳けなく存じ心からお詫び申し上げます。

サンディエゴのホストの2, 3からホテル気付でお土産が届いていたり、是非ここを見学しろ、二百年祭の記念品は、どこでどんな物売っている等のメッセージが入っており感激しました。

シスコの二日目は古橋君は単独、畑山君は病院見学、中川・百瀬・小生三名はバスツアーとおのおの米国本土最終日を過す予定です。今回をもって最終報告をさせて頂き度く存じます。

一同極めて意義深い旅行を健康で楽しく過せました事を重而心からお礼申し上げます。

(以上抜粋)

■「国際理解のための国際ロータリー賞」についてお知らせ

1966年5月、国際ロータリー理事会では国際奉仕の分野における意義ある計画を表彰するものとしてインターアクト・クラブへの授賞を規定いたしました。

この「国際理解のための国際ロータリー賞」は、国際ロータリーよりインターアクト・クラブに授与される唯一の賞であります。

なお、本賞は、活動或は計画が地区インターアクト委員長によって提出された場合のみ受取られるものであることをご了承下さい。

●国際理解増進のための国際ロータリー賞

インターアクト・クラブが5クラブ以上存在し、地区インターアクト委員会が設置されている各ロータリー地区内のインターアクト・クラブは、毎年、国際理解増進のための国際ロータリー賞受賞の競争に参加する資格がある。

本賞の受賞競争に参加を希望するインターアクト・クラブは、1975—76年度におけるクラブの主要な国際奉仕計画についての説明書に、入手可能な写真、カラースライド、新聞の切抜、その他の補足資料を添えて提出しなければならない。その参加申込書は、提唱者であるロータリー・クラブを通じ、地区インターアクト委員会の委員長を務めているロータリアンへ提出されなければならない。又、地区インターアクト委員会によって締切期日が変更されない限り、1976年6月30日までに委員長のもとに到着しなければならない。提出された参加申込書類は、全部、国際ロータリーの所有物となる。但し、提出書類のうち特殊な物件に限り、その要請のあったものは提出したインターアクト・クラブへ返却される。

個々のインターアクト・クラブからの参加申込書類を全部受理した後、地区インターアクト委員長は、最も優秀な計画、又は活動を選考するために、委員会を召集しなければならない。委員長は、委員会においての選考の結果である旨の署名文書を添付し、優勝参加クラブの申込書類を国際ロータリー事務総長へ郵送する。委員会が本賞に値する功績を有する活動計画を発見出来ない場合にも、その旨の説明書を委員長より事務総長へ提出しなければならない。

全参加申込書類は、地区委員会の選考の結果の如何に拘らず、全部事務総長へ送付されるべきものであって、棄却、或は、提出したインターアクト・クラブへ返却してはならない。参加書類の中には、地区内にて最も優秀なものと認められなくても「インターアクト・ニュース」やその他の国際ロータリー出版物に発表、掲載に値するものがあり得る。更には、全参加申込書類は、インターアクト・プログラムを評価するに当って国際ロータリー理事会へ有益な情報を提供する資料となるものである。

表彰証明書は、特定の個人（地区ガバナー、地区インターアクト委員長等）へ送付するようにとの指示がない限り、適宜に受賞クラブへの贈呈式を行うよう、提唱者であるロータリー・クラブへ郵送される。

●授賞規定は次の通りである：

イ) 授賞は、毎ロータリー年度、インターアクト・クラブが5クラブ以上存在し、地区ガバナーによって正式に任命された最少限3名のロータリアンよりなる地区インターアクト委員会が存在する各ロータリー地区内の1インターアクト・クラブに対し、行うものとする。

ロ) 各表彰は、国際理解と親善の増進を図るに当って、その範囲、影響力、独創性、及び有効性が最も大きく、更に授賞を裏付ける十分な意義のある事業、又は活動を計画し実施したインターアクト・クラブに対し行われる。

ハ) 各地区においてこの表彰を受けるインターアクト・クラブを選考する責任は、地区ガバナーの指導のもとに活動する地区インターア

クト委員会にある。

ニ) 地区インターアクト委員長は、ロータリー年度末に、優勝インターアクト・クラブ名、その提唱ロータリー・クラブ名、及び授賞の対象となっている事業又は活動を説明した報告書を、インターアクト・クラブが提出した写真、新聞の切抜、その他の補足資料に添えて、国際ロータリーへ提出しなければならない。

ホ) 国際ロータリー賞は、優勝インターアクト・クラブ名が記入され、国際ロータリー会長及び事務総長の署名入りの証明書である。

ヘ) 異例の功績を認められた場合には、無地区ロータリー・クラブの提唱によるインターアクト・クラブへも本賞が授与される。このようなクラブは、提唱ロータリー・クラブを通じて参加申込書類を事務総長へ提出しなければならない。

この表彰プログラムに関する質疑は、下記の国際ロータリー事務局へ問合わせること。

Rotary International
1600 Ridge Avenue
Evanston, Illinois, U.S.A. 60201

■世界社会奉仕に参加

先般、プロジェクトNo.1047インド地方大学3クラス増築資金として、地区より300,000円の援助をいたしました(ガバナー月信4月15日号掲載)。

・東北信分区が更に同プロジェクトに対し、427,000円の援助を行なった。

これに対して、第318地区世界社会奉仕委員長 S. Pundalika Rao 博士より、当地区稲垣実世界社会奉仕委員長宛に、4月23日付でお礼状がまいりました。

グアテマラ地震罹災者救済資金援助として、1,996,000円下記の通り送金しました。

参加クラブ	援助額
名古屋ロータリークラブ	80,000円
名古屋西	30,000
名古屋北	206,000
名古屋東	10,000
名古屋東南	20,000
名古屋守山	70,000
名古屋南	30,000
名古屋和合	10,000
東知多	70,000
常滑	20,000
半田	30,000
名古屋港	30,000
東海	10,000
一宮	30,000
尾西	10,000
春日井	50,000
瀬戸	30,000
尾張旭	10,000
名古屋空港	30,000

一宮北ロータリークラブ	50,000円
あま	30,000
小牧	30,000
江南	10,000
津島	10,000
西春日井	10,000
稲沢	10,000
安城	30,000
碧南	10,000
一色	30,000
刈谷	67,000
西尾	20,000
岡崎	30,000
岡崎東	40,000
岡崎南	40,000
高浜	10,000
豊田	73,000
豊田西	20,000
木曾	20,000
白馬	20,000
富士見	20,000
松本南	20,000
松本	20,000
松本西南	20,000
大町	20,000
岡谷	20,000
飯田	30,000
松川	20,000
飯島	20,000
駒ヶ根	30,000
伊那	30,000
箕輪	30,000
辰野	80,000

合 計 52クラブ 1,696,000

送金額 1,696,000円+300,000円=1,996,000円
(第360地区資金より)

■国際ロータリー財団教育補助金奨学生 候補者決まる

1977～78年度国際ロータリー財団教育補助金
奨学生の選考は下記の通り行われ、6名の正候
補者並びに2名の補欠候補者が決定しました。

- 1 日 時 昭和51年4月17日(土)
- 2 場 所 名古屋市中区栄2丁目17番地
名古屋科学館
- 3 選考委員 山田市三郎ガバナー、近藤、佐
藤、鮎谷各パストガバナー、藤原正男ガバ
ナーノミニー、小山福松、吉田市郎、岩田嘉七
各教育補助金委員
- 4 午前11時集合 オリエンテーションの後11
時20分より12時まで英、独、仏語筆記試験
昼食後午後1時より面接
面接分担 総括(山田)会話(鮎谷、古橋、船
戸)知力(佐藤)健康(吉田)人柄(岩田)
思想(小山)熱意(近藤)ロータリー知識(藤原)
- 5 参 加 者 22名(2名欠席)
- 6 選考の結果 面接終了後、各委員協議の結
果次の通り選出された。

正候補者

山口仁美(21)岐阜薬大 大学院課程(名古屋
和合)
青山辰夫(24)慶応大 " (一宮)
古山正子(21)南山大 大学課程(名古屋西)
井田美保(26)愛知芸術大 大学院課程(名古屋
東)
家田重晴(25)東京大 " (名古屋北)
丸山文裕(25)名古屋大 " (名古屋東南)

補欠候補者

(第1)上田ひで子(22)愛知県立大 大学院課程
(名古屋南)
(第2)富山弘道(21)上智大 大学課程(豊橋)

■フィジー島地区ガバナーより世界社 会奉仕についてご依頼



1976年4月15日

山田ガバナー殿

拝啓 我々の病院の眼科では、+10、+0、
+14のレンズのめがねがどうしても必要なの
です。これらは白内障で手術をした患者に必要な
わけですが、彼らは貧しく買うことができませ
ん。私はあなたの国にはこういうめがねがある
と信じますので、貴地区内のクラブへこのこと
についてお知らせいただけたらと思います。世
界社会奉仕事業としてこれを取り上げて下さる
クラブもなかにはあるかもしれません。

どうぞよろしくお願いいたします。 敬具
A. A. アスガー 地区ガバナー

■パキスタン向け子供用中古衣料につい てのお願い

第360地区世界社会奉仕委員長 稲垣 実

大変面倒なことをお願いしたにもかかわらず
皆様に積極的なご協力を頂きまして有難とうご
ざいました。お蔭様で今年度世界社会奉仕活動
の一つとしまして大きな成果を納めたと感謝
致しております。

クラブ単位でご送付頂いたところもあれば、
分区でまとめて頂いたところもあり、それぞれ
にご苦勞をおかけいただきました。

今までにはほぼ出揃ったことと思いますので、
今回の中古衣料の送付につきまして当360地区
全体で、どの程度の送付がなされたか、また送
付の際に色々問題もあったのではないかと思ひ
ます。つきましては、今後の参考にさせて頂き
たく各クラブまたは分区でお取りまとめ頂いた
責任者の皆様に、お手数を煩わせますがご送付
いただいたカートン数、時期、及び輸送につい
ての問題点等を下記宛お知らせ下さい。

〒451 名古屋市中区則武新町1丁目1番地

日本陶器株式会社内

第360地区 世界社会奉仕委員長 稲垣 実

皆様から連絡いただきました結果は、地区全
体でまとめて改めてお知らせ致したいと考えて
おります。

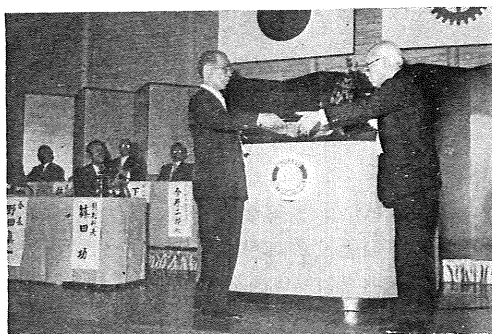
(なお、既に結果報告をいただいたクラブまた
は分区は改めていただくには及びません)

■第2回G.S.E.チーム帰国歓迎会開催

当地区より太平洋沿岸サンディエゴ市を中心
とする、国際ロータリー第534地区へ派遣して
おりました第2回G.S.E.チーム一行が、親
善使節としてふさわしいご活躍を果たし、4月
29日無事帰国され、その歓迎会が5月8日16時
よりホテルニューナゴヤにおいて開催された。

当日は、山田ガバナー、藤原ガバナーノミニ
ー、安野、近藤両パストガバナー、各分区代理
を始め多くの来賓とチームメンバーとその家族
が出席、勞をねぎらうと共に素晴らしい成果と任
務の完了を祝した。

■西春日井クラブ認証状伝達式挙行



山田ガバナーより認証状をうける野田会長

去る4月11日（日）午後16時30分より西春日井クラブ認証状伝達式が、名古屋市中区の名古屋観光ホテルで盛大に挙行された。

当日は、山田ガバナー、鮎谷直前ガバナー、近藤、安野、原各パストガバナー、藤原ガバナーノミニー、赤津地区幹事、大竹分区代理、長谷川地区資金委員長、尾張第二分区各クラブ会長のほか第360地区67クラブ約800人が出席、仲谷愛知県知事、下村新川町長、加藤中日新聞社長がそれぞれお祝いの言葉を述べられた。



ご来賓の皆さま

また、記念事業としてロータリー財団、米山記念奨学会への寄附、第360地区ヘアフガニスタン王国の万国旗を始め、西春日井郡の清洲、新川、西枇杷島、春日、師勝、西春の6カ町村と西枇杷島警察署、ボーイスカウト、中日新聞社会事業団に記念品が贈呈された。

引続き、祝宴にはいり、名古屋フィルハーモニー・ピックアップメンバーや田村味智子社中の音楽演奏、内田るり子さんの日本舞踊のなかで、当クラブの前途を祝福し、めでたく終了した。

■松本クラブ創立20周年記念例会開催



去る4月8日（木）午後4時より松本浅間温泉ウエストンホテルにおいて、松本クラブ創立20周年記念例会が簡素ながらも厳かに挙行された。当日は、山田ガバナー、安野パストガバナー、藤原ガバナーノミニー、島分区代理を始め、和合松本市長、浅野名古屋クラブ会長、南信第一分区各クラブ会長ほか多数の来賓と会員が列席、来賓祝辞、記念講演等があり、引続き祝賀パーティーが行なわれ、めでたく終了した。

なお、記念事業として下記の贈呈がなされた。

1. 松本市へ青少年育成の塔 金100万円也
1. 青少年育成基金積立 金 50万円也

■名古屋港クラブ創立10周年・名古屋港ローターアクトクラブ認証状伝達記念式典挙行



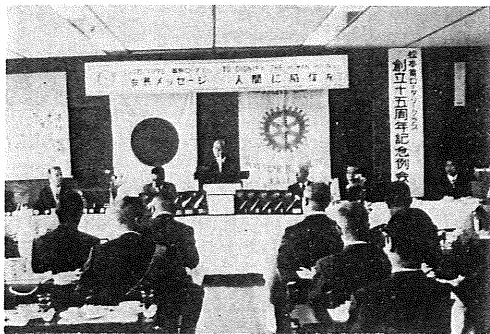
去る4月18日（日）午前10時30分より名古屋港湾会館において、名古屋港クラブ創立10周年及び名古屋港ローターアクトクラブ認証状伝達記念式典が挙行された。

当日は、佐藤、鮎谷各パストガバナー、赤津地区幹事（山田ガバナー代理）、田辺分区代理、中西R.A.地区委員長、尾張第1分区各クラブ会長幹事を始め、豊橋、岡崎、田原、一宮各R.A.代表、報道関係者ほか多数の来賓と会員が参列した。

なお、各種表彰のほか、記念事業として名古屋港緑化のための「1千本桜」の記念植樹、ロータリー財団へ1万ドルの寄附、尾張第一分区における初めてのローターアクトクラブの発足などが発表された。

引続き交歓会、保安庁大型巡視船「いすず」による名古屋港巡航等が行なわれた。

■松本南クラブ創立15周年記念例会開催



去る4月19日（月）午後12時30分より例会場において、松本南クラブ創立15周年記念例会が挙行され、山田ガバナー、滝沢パストガバナー、藤原ガバナーノミニ、島分区代理、西沢特別代表、南信第一分区各クラブ会長を始め、和合松本市長ほか多数の来賓と会員が参列した。

記念事業として、山岳文庫の寄贈、創立15周年記念誌発刊の発表、記念品の贈呈、記念講演があり、めでたく終了、引続き記念パーティーが行なわれた。

■飯田クラブ創立20周年記念式典挙行

去る4月28日（水）午後1時より飯田商工会館6階において、飯田クラブ創立20周年記念式典が厳粛裡に挙行された。

当日は、山田ガバナー、鮎谷直前ガバナー、特別代表・神野パストガバナーご夫妻、原パストガバナー、藤原ガバナーノミニ、桃沢分区代理、元分区代理、南信第二分区各クラブ会長を始め、松沢飯田市長、吉川飯田商工会議所会頭、地元報道関係者ほか多数の来賓と会員が参列、終了後引続き祝宴が行なわれた。

なお、各種表彰のほか、記念事業としてロータリー財団基金30万円寄贈、オルゴール時報装置一式設置、学童交通安全人形8体設置、指導用テント2張及び山岳訓練用トランシーバー3

点セット寄贈、記念講演の開催、ポールハリスフェロー5名誕生が発表された。

■ロータリー財団奨学生のお便り

1976年4月4日

野上 洋子（長野R.C.推薦）

拝啓 暖かくなりました。先週の金曜日ローレンスでは83°Fとなりました。広い校庭は花とグリーンの芝生がとてもきれいです。宿題やレポート提出と毎日忙しくしていますが、この5月には学士号が取れそうですし、カンサス大学を卒業する予定です。ロータリーインターナショナルに対して深く感謝いたします。ネブラスカ、ワシントンD.C.、テネシー、ケンタッキーといろいろなところを訪れ、合衆国とそこに住む人々について、知ることができました。なかでもテネシーのナッシュビルというところで過したクリスマスが、とりわけ印象深く、すばらしい経験になりました。

2月の初めにカンサス大学で年中行事になっている“ジャパンナイト”というものがありました。200人もの人々がやって来てスキヤキを食べたり、フィルムで日本の文化について紹介したりとても楽しいひとときを過しました。

私のロータリーカウンセラーは、リチャードA. オーチャード夫妻です。ディナーによく招けて下さったり、インディアンカルチャーショーに連れて行って下さったりで、私に夫妻を通じてアメリカ合衆国について学ぶことができます。こちらに来てまだ、9ヶ月がたったばかりですが、10年かかってもうてい学ぶことができないほど、多くのことをこの間に学んだような気がします。この貴重な経験を与えて下さいましたロータリーに対し感謝いたしますと共に、今後は日本に帰ってから、私の役目を果たしていきたいと思っています。 敬 具

■青少年交換学生のお便り

1976年4月20日

長島 勝（木曾R.C.派遣）

Time flies ということわざがありますが、1ヶ月を無事過ごした今、しみじみとこの言葉のもつ意味を感じています。なにしろ、何もかもが、初めての体験で、この1ヶ月それらに慣れるのにいわば必死でした。それでも、英語に

も慣れましたし、Host の家族とは今から別れるのを惜しむような親しい関係になりました。僕も家族の一員となり、そして、学校ではクラスの one mate として、毎日忙しく楽しい日々を送っています。

さて、今日は、こちらに来てから、感心したこと、驚いたことなどを2、3述べてみたいと思います。一番最初に感じたことは人々がとても“人なつこい”“friendly”なことでした。ここオーストラリアは、多民族国家ですから、僕は、日本で外国人を迎えるように特視されませんし、着いたその日から、みんなと友達になりました。家族はもちろんのこと隣りの人たちや、ロータリアンの人たち、そして学校の先生、先徒……僕はここに來られたことをほんとうに幸わせに思います。

彼らは、まったく日常的に、自然に人なつこく話しかけてくる。そんな人々はとても明るくて、僕まで、知らず、知らず混乱しながらも話の渦に引きこまれていきます。それに、人々はなんと話のすきなことか。街角で、知り合いの人と会えば30~40分は立ち話、ちょっと、ガソリンスタンドに立ちよってもスタンドの人と話をし、パーティーやバーベキューのときには話すと笑いで、とても楽しいです。

一般にこの人々は、人とのコミュニケーションを大切にしますし、話をすることがとても上手です。日本人に見られる様に人前で尻込みするような態度は一つも見せません。特に感心するのは小学生位の子供、彼らと話をしていると、何と expression の豊富なことかと思えます。話すときの目つきとかジェスチャーとか、まったく自然なスピーチの型態だとは思いますが、年れいを疑いたくなるような時もたびたびです。

それは同年代の学生とか、人々をみてもわかります。ませている、という表現は適当ではありませんが、みんなしっかりしていると思えます。大きなプライドをもっています。ですから、話をしたりいろいろなことに、まわりの人の視線を感じてひるむことはないのでしょう。これはすばらしいことだと思います。そんな中で僕も少しずつ日本にいる時よりオープンになってきたように自覚しています。その証拠に、みんな

なとゴーゴーダンスに行ったり、歌をうたったりしました。

人々は一般に生活水準は日本より高いと思います。それは物質の量質ではなくて、生活を楽しむ方法を知っているからです。特にウィークエンドや休日（イースターとか、クリスマス）には徹底的に遠出します。モーターボートや Caravan をもっている家はとても多くキャンプに行ったり、海へボートにのりに行ったり、たいへん活発です。

16, 17, 18, 19日は、Easter Holiday（イースター・ホリデー）で、僕はホストの家族と共に300余kmブリスベンより北の Bundaberg という所にキャンプに行ってきました。一面のさとうきび畑の真中にあるたいへん古い町で、立派な塔と、甘い音色をもつ教会の鐘が印象的でした。この期間は、キリスト復活を願う、キリスト教の行事で、たくさんの人々が教会で神父さんの説教をきいていました。

家々はたいへん古いものがあり、それらは、ブリスベン以上の広い庭をもっています。ここは、農業中心の町で農家はたいへんお金持ちなのだそうです。僕もそれは感じました。シュガーカイン畑のど真中にある農夫の家は、すばらしい庭があったり、家もこった建物です。オーストラリアの家々は新しいものはブリックと呼ばれるレンガで作られており、家々によっては、アーチ形のアーケードをベランダにつくったり、とてもオリジナルな景観をもっています。もちろんインテリアも、その家の主人の趣味で素晴らしいものがあります。一般に人々は家や庭を精魂こめて、手入れをしていようです。また、こうした家々を自分でつくる人もすくなくありません。自分で自分のすきなような家を作る、すばらしいですね。

こうして僕は、毎日オーストラリアに溶け込み生活を楽しんでいます。10月余後に日本に帰ることを思うと、心の方では寂しい気もします。つまり、この体験は僕にとって、とても大きなもので、僕の考え方も少しずつ変わっているからです。こうしてロータリーの活動、意義の大きさを感じるとともに今、僕は、僕に大きな体験を与えてくれたロータリーに大いに感謝しています。また、お便りします。

4月会員数及び出席率 (51年5月10日現在)

順位	クラブ名	会員数	出席率	例数	前月順位	前月会員数	増減
1	豊田	87	100	4	1	87	
1	松本	79	100	4	1	79	
1	瀬戸	73	100	4	27	72	+1
1	犬山	67	100	4	1	65	+2
1	駒ヶ	64	100	4	1	64	
1	名古屋	56	100	4	36	56	
1	豊田	53	100	4	1	53	
1	辰野	43	100	4	1	43	
1	輕井	38	100	4	1	38	
1	飯島	31	100	4	1	31	
11	古屋	94	99.79	5	1	94	
12	飯田	60	99.67	5	1	59	+1
13	安城	61	99.65	5	1	61	
14	飯田	69	99.63	4	1	69	
15	豊橋	91	99.45	4	21	93	-2
16	豊橋	103	99.44	4	1	104	-1
17	古屋	106	99.43	5	17	105	+1
18	刈谷	66	99.41	4	20	67	-1
19	松本	77	99.35	4	21	77	
20	小宮	52	99.23	5	26	51	+1
21	一宮	87	99.11	4	49	87	
22	豊橋	54	99.07	4	1	54	
23	名古屋	74	98.95	4	45	75	-1
24	春日井	76	98.94	5	29	76	
25	春日井	69	98.91	4	19	69	
26	西春日井	52	98.87	4	33	53	-1
27	西春日井	68	98.53	4	25	65	+3
28	名古屋	86	98.48	4	23	84	+2
29	名古屋	105	98.41	4	30	104	+1
30	岡崎	62	98.36	5	24	59	+3
31	岡崎	54	98.15	4	28	54	
32	尾張	43	98.14	5	1	42	+1
33	小牧	53	98.11	4	44	53	
34	名古屋	65	98.08	4	59	65	
35	名古屋	75	98.00	4	34	75	
36	長野	67	97.96	4	38	67	
37	津島	70	97.76	5	18	70	
38	豊川	62	97.58	4	34	62	
39	岡崎	41	97.56	4	41	41	
40	岡崎	76	97.26	4	40	74	+2
41	蒲郡	70	97.24	4	31	70	
42	松川	36	97.23	4	64	36	
43	伊那	67	96.99	4	32	67	
平均出席率=96.94%							
44	戸倉山田	32	96.90	4	1	32	
45	名古屋	130	96.89	4	46	131	-1
46	西尾	66	96.87	4	39	67	-1
47	東海	48	96.79	4	61	47	+1
48	長野	76	96.72	4	37	75	+1
49	江新	59	96.61	4	52	59	
50	新一	46	96.52	5	66	46	
51	一宮	52	96.15	4	43	48	+4
52	一大	73	96.04	5	48	72	+1
53	名古屋	62	95.87	4	51	62	
54	名古屋	76	95.73	4	62	76	
55	稲富	53	95.67	4	46	53	
56	富士	28	95.54	4	53	28	
57	半田	67	95.52	4	57	67	
58	常滑	51	95.30	5	42	50	+1
59	白馬	31	94.71	5	63	30	+1
60	尾西	42	94.64	4	58	42	
61	南佐	27	94.61	4	55	28	-1
62	田名	48	94.14	5	54	48	
63	名古屋	215	94.02	4	67	219	-4
64	中野	40	93.75	4	71	40	
65	諏訪	59	93.22	5	60	56	+3
66	奥高	36	93.06	4	70	37	-1
67	高知	42	92.77	4	68	42	
68	東本	41	92.68	4	50	41	
69	松本	39	92.31	4	69	39	
70	上田	63	92.25	4	56	60	+3
71	渥美	44	91.40	4	72	45	-1
72	輪曾	25	88.77	5	74	26	-1
73	木丸	43	87.72	4	73	44	-1
74	子	35	87.62	4	65	35	

会員数 4,631名 純増 16 (累計 267)

■第1回地区協議会リーダー会議開催

日時 昭和51年5月8日(土) 11:30~15:30

場所 ホテルニューナゴヤ

出席者 山田ガバナー 鮎谷直前ガバナー

伊藤, 内藤, 安野, 近藤, 滝沢, 佐藤, 原各
バスターガバナー, 藤沢ガバナーノミニー森ガ
バナーノミニー候補, 赤津地区幹事, 三井次
期地区幹事, 田辺, 大竹, 小森, 渡辺, 夏目,
島, 桃沢各分区代理, 墨, 下郷, 野沢, 山田,
樋口, 小口, 北原各次期分区代理, 中井次期
資金委員長, 小玉次期世界社会奉仕委員長,
鈴木次期青少年奉仕副委員長, 松井次期会計
長, 伊藤名古屋港クラブ幹事

- 議題 1. 地区協議会のあり方について
2. その他

■第3回地区大会企画委員会開催

日時 昭和51年5月8日(土) 15:30~16:30

場所 ホテルニューナゴヤ

出席者 山田ガバナー, 藤原ガバナーノミニー
鮎谷直前ガバナー, 原バスターガバナー, 伊奈
大会委員長, 鈴木大会幹事, 水野前大会幹事,
赤津地区幹事, 三井次期地区幹事

- 議題 1. 特別講演者について
2. シンポジウムのモデレーターにつ
いて
3. その他

■第5回地区諮問委員会開催

日時 昭和51年5月8日 15:30~15:40

場所 ホテルニューナゴヤ

出席者 ガバナー 山田 市三郎
バスターガバナー 滝沢 卓夫
" 原 享二
直前ガバナー 鮎谷 賢太郎
カバナーノミニー 藤原 正男
地区幹事 赤津 賢太郎
次期地区幹事 三井 章義

- 議題
1. 地区提携クラブ計画について
藤原ガバナーより表題計画につき説明あ
り, 1976~77年度に本地区において同計画相
当地区委員会の設立とその予算30万円の要望

日本における会員増強一覽表 (1976.3.31)

地 区	6/30-1975		3/31-1976		増 加		R. I. 加盟		純 増
	クラブ数	会 員 数	クラブ数	会 員 数	クラブ数	会 員 数	クラブ数	会 員 数	
349	47	2484	52	2680	5	196	5	153	43
350	53	2432	53	2527	0	95			95
351	52	3013	53	3138	1	125	1	24	101
352	62	2601	62	2645	0	44			44
353	71	3215	71	3255	0	40			40
354	57	2392	57	2484	0	92			92
355	54	2711	55	2802	1	91	1	29	62
356	58	2985	60	3104	2	119	2	61	58
357	54	2738	56	2924	2	186	2	71	115
358	82	5622	83	5829	1	207	1	31	176
359	56	3087	57	3203	1	116	1	32	84
360	72	4364	74	4615	2	251	2	81	170
361	79	4126	80	4233	1	107	1	24	83
362	43	2400	47	2553	4	153	4	118	35
365	46	2951	48	3167	2	216	2	99	117
366	76	4590	78	4751	2	161	2	59	102
367	49	2373	51	2456	2	83	2	56	27
368	46	2388	48	2502	2	114	2	65	49
369	87	4576	87	4681	0	105			105
370	69	3719	71	3867	2	148	2	62	86
373	64	3190	68	3369	4	179	4	111	68
Total	1277	67957	1311	70785	34	2828	34	1076	1752
増 加 率					4.16%				2.58%

あり、諮問委員会はこれを諒解した。

なお、具体的には藤原ガバナーノミニーの
国際協議会参加帰朝後その資料に基づき実施
することとする。

敬 弔

次の方がお亡くなりになりました。謹んで
哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げ
ます。

清水忠躬君（松本西南）

長野プロパンガス(株)取締役

昭和51年5月7日逝去 76才

前田増巳君（岡崎東）前田石材店々主

昭和51年5月8日逝去 52才

上田秀夫君（名古屋）

朝日新聞社常務取締役

昭和51年5月11日逝去 61才

■例会場移転のお知らせ

南佐久ロータリークラブ

当クラブ例会場は5月7日より下記に移転い
たします。

新住所 〒384-11

長野県南佐久郡小海町

八十二銀行小海支店

電話番号 026792-2582

■ポールハリスフェロー誕生

深く敬意を表しますと共に心からお慶び申し
上げます。

332号 山下 順 藏（飯田）

333号 鈴木 明 男（〃）

334号 池 田 美喜男（〃）

335号 白 石 豊 彦（名古屋）

336号 竹 本 長三郎（蒲郡）

337号 中 根 芳 松（岡崎）

338号 木 村 保 雄（渥美）

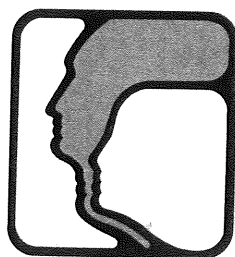
339号 藤 原 正 男（諏訪）

340号 加 藤 順 子（岡崎）

341号 飯 田 秀 一（名古屋港）

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING

人間に威信を！



山田市三郎

国際ロータリー第360地区
ガバナー事務所
〒460-91
名古屋市中区栄三丁目33-13

中京相互銀行7階

☎名古屋(052)262-6111 (交換)

☎名古屋(052)262-2505 (直通)

地区幹事 赤津賢太郎

(名古屋南ロータリークラブ)